



I-0816



亞細亞局

第三課

昭和九年四月五日 接受
別紙添付

公機密第四二〇號

昭和九年三月三十一日

在滿洲國
特命全權大使 菱刈

外務大臣 廣田 弘毅 殿

昭和九年三月三十一日附 在哈爾濱森島總領事宛往信寫送付
機密第二六號

件名

一、東滿特委ノ根據地移動等ニ關スル件

在滿日本帝國大使館



機密第二六號

昭和九年三月三十一日

在滿洲國
特命全權大使 菱刈 隆

在哈爾濱
總領事 森島 守人 殿

東滿特委ノ根據地移動等ニ關スル件

本件ニ關シテハ幾ニ間島方面ヨリノ諸情報綜合考察ノ結果中共産黨
滿洲省委兼下ノ東滿特委ハ最近延吉縣下依蘭溝管内四方臺方面ニ移
動再舉ヲ企圖シツ、アルヤノ情勢ナルトコロ一方哈爾濱方面ヨリノ
情報ニ據レハ同特委ハ昨年秋ニ於ケル皇軍大討匪以來東寧縣蘇滿國

在滿日本帝國大使館

I-0816

境地带ニ移動シ從來同地方ニ根據シ居タル綏寧中心縣委ト合シ青東
屬ナルモノヲ組織シ居ル形跡アリ之カ實情調査方間島總領事宛通達
シ置キタル次第ナルトコロ今回同總領事ヨリ同特委ノ所在等ニ關シ
別紙ノ如キ報告ニ接シタルカ本報告ニヨレハ同特委ハ前揚ノ如ク四
方臺ニ根據セルハ略確實性アルモノト認メラレ且ツ滿洲省委ハ同特
委ノ幹部ヲ更迭シ黨内ノ肅清ヲ斷行スル外當面ノ工作路線等ニ就キ
指令ヲ發シ居リ又同特委ハ改選後ノ新陣下ニ各縣委ノ聯席會議ヲ開
催シ居ル模様ナルカ此等狀況究明上貴官ニ於テハ滿洲省委ノ東滿特
委ニ對スル指令等入手方極力勵行セラレ結果何分ノ御報告相成度此
段申進ス

記

在滿日本帝國大使館

中國共產黨東滿特委ハ從來汪清縣春明鄉小汪清ニ根據シ開輝四縣委
以下各級黨部ヲ統制シ居タルカ一月末ヨリ實施セラレタル我皇軍ノ
冬期一齊討伐ノ爲各地ヲ逃避潛行シ居タルカ二月下旬討伐隊引揚後
東滿特委ハ延吉縣東北部四方臺ニ汪清縣委ハ同縣中部小汪清ニ各假
根據ヲ定メタリ一面滿洲省委ニ於テハ東滿特委以下内訶廓清及各縣
委統制ヲ徹底セシムヘク東滿特委幹部ヲ更迭シタル趣ニシテ新任幹
部楊茂葉、張應烈、金字健、李正執、金貞嬭ノ五名ハ三月五日琿春
縣楊木橋子ニ汪、琿各縣委幹部ヲ召集シ聯席會議ヲ開催シ滿洲省委
ノ指示事項ヲ示達後諸工作上ノ協議ヲナシタリト次ノ如シ

一、參 會 者

中國共產黨滿洲省委東滿特委責任秘書 楊 茂 葉（滿人）

在滿日本帝國大使館

I-0816

汪清縣委	宣傳部責任	張應烈 (鮮人)
軍事部責任	李正執 (滿人)	
政治部責任	金宗健 (鮮人)	
婦女部責任	金貞禧 (鮮女)	
秘書	張明賢 (滿人)	
政治部責任	陳萬山 ()	
婦女部責任	姜愛淑 (鮮女)	
軍事部責任	王無牙子 (滿人)	
宣傳部責任	呂興律 (鮮人)	
兼第一區責任	趙芝遠 (滿人)	
反日遊擊大隊長	趙芝遠 (滿人)	
反日遊擊隊參謀	金一善 (鮮人)	
兼政治委員		

在滿日本帝國大使館

反日遊擊隊中隊長代理	金昌甫 (鮮人)
琿春縣委	任朱任光 (滿人)
秘書	崔東赫 (鮮人)
政治部責任	石泉 (鮮人)
軍事部責任	孔憲紳 (滿人)
中韓反日遊擊總隊長兼反日革命軍長	孔憲紳 (滿人)
宣傳部責任	梁英傑 (鮮人)
反日遊擊隊參謀兼政治委員	白金春 (滿人)
組織部責任	梁錫錫 (鮮人)
婦女部責任	李蓮玉 (鮮女)
青年部責任	羅貞善 ()

在滿日本帝國大使館

I-0816

滿洲省委指示事項

- 1. 立三路線徹回後中央路線實現以來黨ノ工作乃至鬭爭力量ハ著シク伸展擴張シタル事實ニ鑑ミ全黨同志ノ一層奮闘ニ依リ革命ノ成功ニ邁進スヘシ
- 2. 黨内全般ノ肅正ト淨化ヲ圖ラシカ爲先ツ幹部ノ更迭移動ヲ斷行スルコト必要ナルヘシ

在滿日本帝國大使館

- 反日遊撃隊兼革命軍中隊長代理 徐鳳鏗 (韓人)
 - 同第一大隊長 蘇來勝 (韓人)
 - 同第二大隊長 甲邵海 (韓人)
- 外ニ警護隊トシテ游撃隊員及反日兵士約五十名ハ專ラ外部ノ警戒ニ任シタリ

- 3. 軍事部黨員カ政治部黨員ヲ民生團又ハ日帝走狗ナリトシテ隨意殺戮清算スル事ヲ禁スヘシ
- 4. 民族團體ト協同戰線ヲ作り中韓反日聯合會ニ民族ヲ多數廣汎ニ吸收加盟セシムル方法ヲ執ルヘシ

- 5. 日本共產黨及朝鮮共產黨ノ再建ニ對シ積極的ニ援助シ速ニ之レカ實現ニ努ムヘシ
- 6. 日本帝國主義カ蘇聯進攻ノ策動乃至準備行動ニ付充分調査報告スルト共ニ隸下各黨級黨員ヲ激勵スヘシ
- 7. 各地ニ在ル抗日會、救國會ノ表面ニ堅實ナル中國人同志ヲ滲入セシメ黨ノ政治的主張下ニ於テ反日工作ヲ展開スルニ努ムヘシ
- 8. 武器彈藥ハ中央黨部及省委ニ於テ近日中某方面ヨリ多數入手ノ

在滿日本帝國大使館

I-0816

準備アルニ付現在兵器微弱ナルモ當分間之ヲ有効ニ利用陰忍ス
ヘシ

9 一九三四年ニ於ケル群衆團體ノ農作ヲ實行セシメ之カ保護乃至
宣傳組織救養問題ニ付テハ討議ノ上最善ノ方法ヲ講スヘシ

10 中國反日兵士トノ協力ニ依リ抗日工作ノ強化ヲ圖ルコト肝要ナ
リ

三、決議事項

1 汪清縣委及琿春縣委ハ相互密接ナル連絡協調ヲ保テ時ニ反日兵
士及遊撃隊ハ常ニ聯合行動ヲ執リ敵ニ當ルコト

2 汪清縣委反日遊撃隊ノ行動區域ハ小汪清、馬村、北溝、小荒溝
双河鎮、大北洞地方ヲ中心トシ琿春縣委反日革命軍ノ行動區域

在滿日本帝國大使館

ハ橫柳溝奧地楊木橋子及頭道溝、六道溝、杜荒溝、蘇滿國境西
北溝地方トス

3 汪琿縣委遊撃隊ニ於テ民生團員トシテ監禁セル者ハ何レモ證據
不充分ナルモノ多キニ付即時釋放ノ上其ノ行動ヲ監視スルコト

4 反日兵士ト遊撃隊ハ極メテ親密ナルヲ要シ相互讓歩ノ精神ヲ以
テ諸工作及鬭争ハ常ニ協調援助スルコト

5 各地ニ駐屯スル滿洲國軍又ハ警察隊内ニ反日兵士ヲ潛入セシメ
赤化宣傳ヲナシ叛亂ニ誘導スルコト

6 各地自衛團ニ黨員及反日會員ヲ潛入セシメ裏面潛行工作ヲ實行
セシムルコト

7 解決期ニ於テ便依隊ヲ各地ニ派遣シ日滿軍警ノ行動ヲ内査シ之

在滿日本帝國大使館

I-0816

カ襲撃資料ヲ得ルコト

8. 反日遊撃隊員中勇敢ナル青年ヲ選抜シ突撃隊及暗殺隊ヲ組織シ拳銃及爆彈ヲ携帶セシメ日警又ハ自衛團員ヲ殺害シ銃器彈藥ヲ奪取スルコト

9. 解水期ニ至テハ群衆ヲシテ山地ニ罌粟ヲ栽培セシメ一方家屋建築ヲ爲スコト該家屋ハ琿春縣及汪清縣内ノ密林地帯ニシテ日滿軍警ノ容易ニ出入不能ナル地區ヲ選フコト

10. 便衣隊ヲ各地ニ派遣シ歸順者ヲシテ裏面工作ヲ怠ラサル如ク指導スルコト

11. 人質拉致ハ富豪地主ニ限り之ヲ行ヒ人質料ヲ提供セシメ日用品食料其他必需品ノ調達費ニ充ツルコト

在滿日本帝國大使館

12. 武力行動ハ革命軍ノ士氣ヲ鼓舞シ贖工作並鬪争上缺クヘカラスルモノナルヲ以テ武力隊伍ヲ整ヘ猛烈ニ戦フコト

13. 暗殺隊ハ大都市ニ潜入シ大官富豪ヲ暗殺スルコト

14. 日帝機關タル集團部落設置ハ極力之ヲ妨害シ既設ノ箇所ハ之ヲ襲撃燒燬ニ努ムルコト

本信寫送付先 外務大臣
間 島

在滿日本帝國大使館

I-0816